



府中市放課後子ども教室 **けやきっず**  
 YSSスタッフ・ニュース 2019-08 号



2019年8月13日  
 NPO法人府中YSS  
 発行責任者 村山 健

このニュースの目的は、府中YSSが受託した4校のスタッフの皆様へ、事業の状況をお伝えすると共に、研修資料として役立たせていただきたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します  
**令和元年7月に行われました各校のイベントの様子です**



六小:7/9. おりがみ教室



六小:7/17. けん玉検定



十小:7/10. おりがみ教室



十小:7/22. サッカー教室



日新小:7/16. おりがみ教室(左下は作品)



日新小:7/8. サッカー教室



南町小:7/16. おりがみ教室(左は作品)



梅雨明け猛暑、暑いあついと思っていたら暦の上ではもう秋（立秋）なんですね

## 立秋(りっしゅう)の由来と時期

立秋とは、日本が太陰暦だったころに、季節の移り変わりを知るために使っていた二十四節気という区分の一つです。立秋の日というのは、この立秋という時期の始まる日(節入り日)のことです。立秋という場合、節入り日の当日のみを指すこともありますが、本来は約15日間の期間を意味します。

## 2019年の立秋はいつ？

- 2019年の立秋の日(節入り日)は8月8日(木)
- 立秋の期間は8月8日(木)から8月22日(木)

年によって1日前後しますが、例年8月7日ごろから始まり、次の二十四節気・処暑の前日にあたる8月22日ごろまでが立秋の時期になります。

出典:イラストわんぱく  
Iust268.png

## 立秋とはこんな季節

二十四節気の中で、立秋は、秋の始まりを意味します。

とはいえ、8月7日前後といえば、夏まっさかりの時期。「今日から秋です」と言われても、全くピンときません。もともと二十四節気は、古代中国で考えられた季節の区分のため、日本の風土と差があるため、こうしたズレが生じてしまうのです。ですが、立秋の日以降は、夏のご挨拶状は「暑中見舞い」から「残暑見舞い」に変わります。

これは、夏はすでに過ぎたので、どんなに暑くても、それは“残暑”と考えるためですね。

また、不思議なもので、立秋に入ってお盆の頃には、徐々に朝晩の暑さがやわらいで、秋の気配を感じる事が出来ます。夏の空をおおう太平洋高気圧も少しずつ弱まりだし、いわし雲やうろこ雲といった秋の雲が空に見られだすのも立秋過ぎから。立秋は、残暑が厳しい中にも確実に夏から秋に向けて季節が動き始める、そんな時期といえますね。

## さて、秋と言えばもう一つ「中秋の名月(お月見)」があります。

今年の中秋の名月は、9月13日です。

「中秋の名月」とは、太陰太陽暦(注1)の8月15日の夜に見える月のことを指します。中秋の名月は農業の行事と結びつき、「芋名月」と呼ばれることもあります。中秋の名月をめぐる習慣は、平安時代に中国から伝わったと言われています。

今年9月13日が中秋の名月、翌日の9月14日が満月と、中秋の名月と満月の日付が1日ずれています。

また中秋の名月の翌日、9月14日は、満月が今年最も小さく見える日です。晴れていれば、今年もいつもと変わらず、美しい中秋の名月を楽しむことができるでしょう。

夏も終り、涼しくなった夜にはお月見などしてみませんか